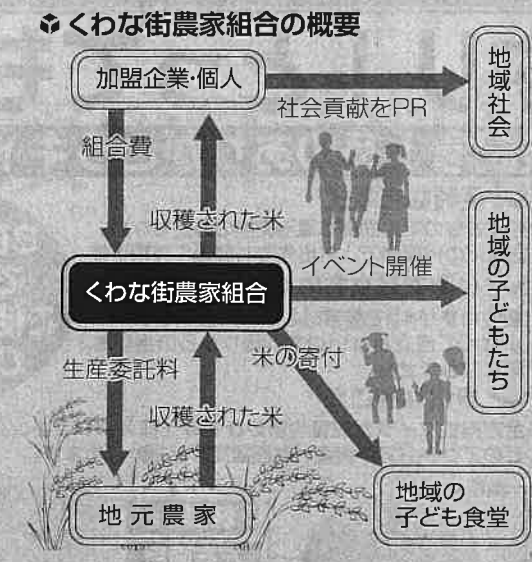


桑名の農業組合で守る

会計事務所組合費で米の生産委託

地域の農家を支援しようと、桑名市の会計事務所「藤本会計・パートナー」が中心となり、「くわな街農家組合」を発足させた。地域農業の維持に加え、子どもたちの食育も考える取り組みだ。事務所代表の藤本純さん(39)は「多くの賛同者に会員になってもらい、地域の農業を守っていきたい」と意気込んでいる。(浜島拓也)

同会計事務所では災害用として地元農産物の米を備蓄しており、所内褒賞の副賞として米を贈っている。藤本さんは「所員には『お米はおいしくて、食べると気持ちが満たされ



これからの活動から「地元農家が安定経営でき、地域にも貢献できる仕組みが作れないか」と考えて、10月に任意団体の「くわな街農家組合」を発足させた。

農家組合は、趣旨に賛同する企業や個人から年間1口2万円の組合費を集め、地元農家へ米の生産を委託し、収穫された米(約30キ)を組合員が受け取る仕組み。農家への委託料は、米

の卸売価格よりも高値に設定している。農家はお得な卸先が確保でき、加盟企業は社会貢献をPRできる。

さらに、加盟企業の社員や地域の子ども向けに田植えや収穫の体験イベントを開くほか、米の一部を地域の子ども食堂などに寄付することも検討している。

農家組合の活動が本格化するとともに、事務局を会計事務所から「くわなフボ」へ移すことも計画 중이다。

現在、来秋に収穫される米に向けて、組合員となる企業や個人を募っており、加入口数は複数でも可能だ。

藤本さんは「こうした組織が地域ごとできて、地元農家に密着した支援の輪が広がることで、日本の農業の安定につながればうれしい」と期待している。

加入などの問い合わせは、同会計事務所(059-487-6112)。

る」と好評で、意欲向上にもつながっている」と笑う。この災害対策が、今回の発足のきっかけの一つになった。

加えて、藤本さんは昨年度の特別定額給付金を有効に使うと、地元貢献を考える合同会社「くわなフボ」を地元若手経営者3人と設立。老朽化などで閉鎖された桑名駅前の商業ビル「桑栄メイト」の記憶を残すため、タブロイド紙の特集号を発行するなどしている。

これらの活動から「地元農家が安定経営でき、地域にも貢献できる仕組みが作れないか」と考えて、10月に任意団体の「くわな街農家組合」を発足させた。

農家組合は、趣旨に賛同する企業や個人から年間1口2万円の組合費を集め、地元農家へ米の生産を委託し、収穫された米(約30キ)を組合員が受け取る仕組み。農家への委託料は、米

の卸売価格よりも高値に設定している。農家はお得な卸先が確保でき、加盟企業は社会貢献をPRできる。

さらに、加盟企業の社員や地域の子ども向けに田植えや収穫の体験イベントを開くほか、米の一部を地域の子ども食堂などに寄付することも検討している。

農家組合の活動が本格化するとともに、事務局を会計事務所から「くわなフボ」へ移すことも計画 중이다。

現在、来秋に収穫される米に向けて、組合員となる企業や個人を募っており、加入口数は複数でも可能だ。

藤本さんは「こうした組織が地域ごとできて、地元農家に密着した支援の輪が広がることで、日本の農業の安定につながればうれしい」と期待している。

加入などの問い合わせは、同会計事務所(059-487-6112)。

配下にしていたが、織田信長の軍勢が伊賀を壊滅させ、尾家が浜松(静岡県)から出雲に移る際、火の扱いが

表記も見られる。青森・津入てきる。問合せは同協会(08552・27・5843)。

重

四日市

〒514-0009
津三交ビル5F
059-225-4321
FAX 059-223-0238
tsu@yomiuri.com

059-352-6685
FAX 059-351-8738

059-383-3411
0598-23-8531
0596-28-2472
0599-25-5161
0597-22-7950
0597-85-2616

052-211-1151
052-211-1009
052-211-0037

4343-81

東海

052-204-1361

059-350-6181

11月13日(木曜日)

11.8

鳥羽

名古屋	6.54
日出	16.42
日没	14.44
日出	3.59
日没	4.33
満潮	16.04
干潮	10.12
(中潮)	22.40

県内の交通事故

13日(県警)

発生	16件
死者	1人
負傷者	19人
21年死者	56人
前年同期	71人

竹上市長を訪問し、健康を誓う三重の選手ら

第100回 全国高校サッカー

28日に開幕する第100回全国高校サッカー選手権大会(読売新聞社など後援)に県代表として出場する三重の選手6人らが14日、松阪市の竹上真人市長を訪問

竹上市長は「標準優勝すると松阪幕がかかるので、指して頑張ってください」と激励し、選手らは「1月の強みである試合で十分に発揮し、優勝を目指します」と意気込みを述べた。

三重の初戦は20日、玉泉代表の西武

南部	0
津	0
四日市	0
伊賀	0
伊勢	0
鳥羽	0
尾鷲	0
松阪	0
桑名	0
名古屋	0
岐阜	0
愛知	0
静岡	0
長野	0
富山	0
石川	0
福井	0
滋賀	0
京都	0
大阪	0
和歌山	0
奈良	0
徳島	0
高松	0
香川	0
岡山	0
広島	0
山口	0
福岡	0
佐賀	0
長門	0
大分	0
熊本	0
鹿児島	0
沖縄	0

読賣新聞

6 7
流 10
計 19
化 31
棋 12

本部支社 〒460-8470 名古屋市中区栄1-2-1 電話(052)211-1201 www.yomiuri.co.jp

トヨタの2030年に向けたEV戦略

	従来計画	新たな計画
30年のEV販売目標	200万台 (FCV含む)	350万台
電動車投資 (うちEV)	(未公表)	8兆円 (4兆円)
車載電池投資	1.5兆円	2兆円
EV車種	15車種 (25年までに)	30車種 (30年までに)

4兆円を投資

トヨタ自動車は14日、電気自動車（EV）の2030年の世界販売目標を350万台とすると発表した。燃料電池車（FCV）を含め計200万台としていた従来から大幅に引き上げ、研究開発や設備投資に4兆円を投じる。脱炭素という国際的な潮流がある中、世界最大級のメーカーがEV戦略を強化したことで、自動車の電動化は一段と加速する可能性がある。

△関連記事8面▽

トヨタEV 350万台販売

30年 世界目標大幅上げ

350万台は、昨年のトヨタの世界販売台数の3分の1以上に相当する。EVの具体的な目標は、これまで25年までに15車種としていたのを、30年までに30車種と拡大した。来年半ばに発売する新たなEVシリーズ第1弾のスポーツ用多目的車（SUV）「bZ4X」を手始めに、小型から大型SUV、セダンまで幅広い



トヨタのEV戦略を説明する豊田章男社長（14日午後、東京都江東区で）＝永井秀典撮影

タイプをそろえる。高級ブランド「レクサス」は、全タイプでEVを用意し、100万台を販売する

考えた。欧州、北米、中国は、EVの比率100%を目指し、35年には全世界で販売するレクサスを全てEVに切り替える。

EVのほか、ハイブリッド車（HV）やプラグインハイブリッド車（PHEV）、FCVを含めた電動車の研究開発費、設備投資は、22年から30年までの9年間に計8兆円を充てる。このうち中核部品となる車載電池に2兆円を投じるとし、9月発表の1・5兆円から上積みした。普及のため、25

自動車業界では「カー」を中心に「行」が加速しているの独メルセデス・30年までにEV車

年をめどに全国の販売店に急速充電することを検討する。豊田章男社長は「現時点では、エネルギー事情にも対応し、ニューラルの拠拠を提供したい」。

政治に「不満」

対抗できる野党

読売新聞社と早稲田大学先端社会科学研究所は、全国世論調査（郵送方式）を共同実施し、衆院選を通じて見えた国民の政治意識を探究した。今の政治に「不満である」と答えた人は「やや」を合わせて74%で、同様の質問を始めた2014年以降計6回の調査で最高となった。「満足している」45%を上回った。に「不満」の人は「53%が」「45%を逆転した。ただ、「不満」院比例選での投票と、自民党の7%の政権批判票の受けべき野党への投票民主党22%と日本19%に分散した。